平成30年度　全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立宍道小学校）

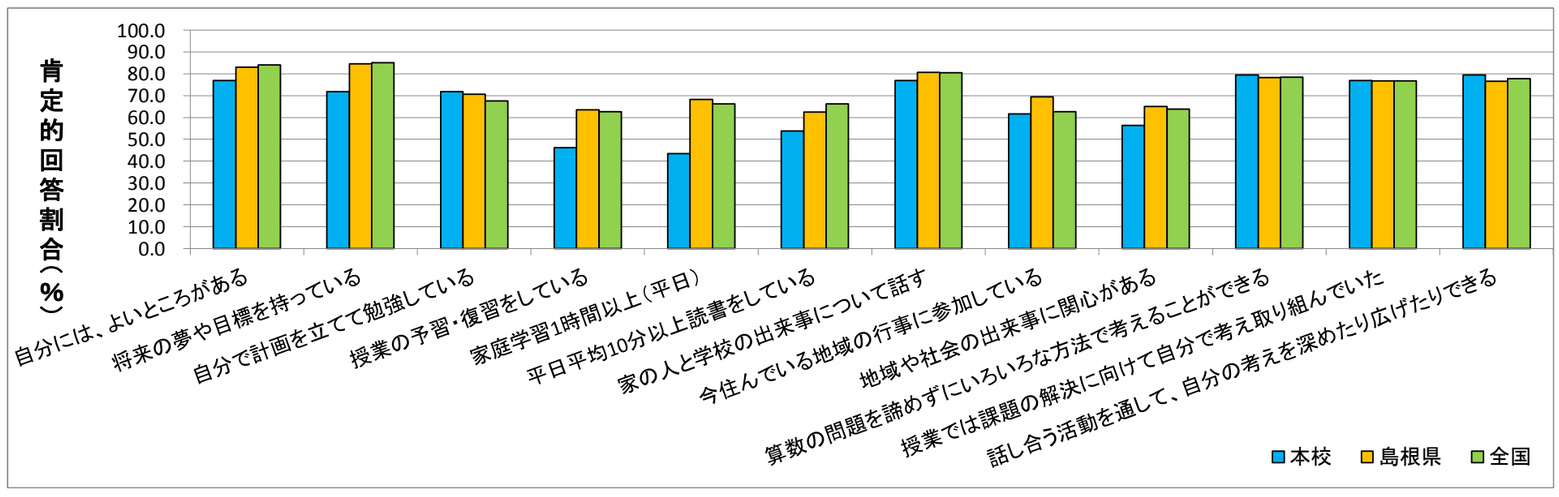
平成30年9月25日

（１）学力調査結果から見られた傾向

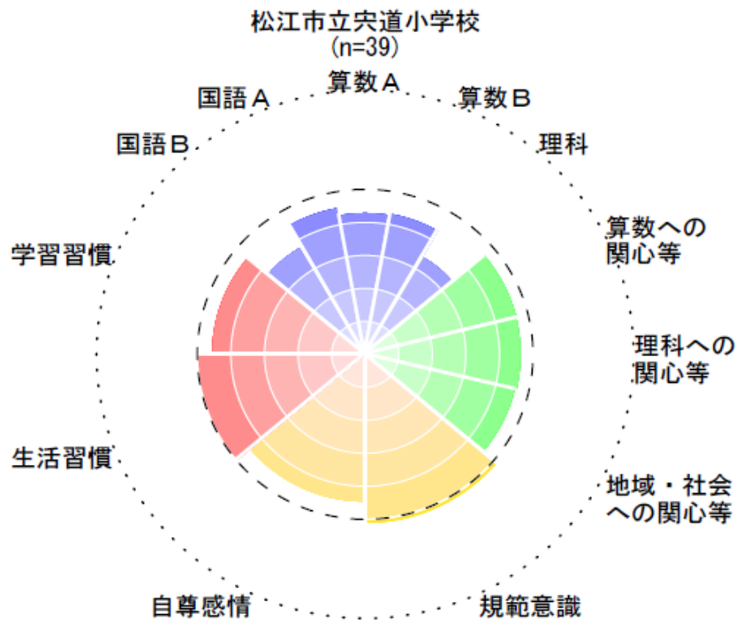
		成果と課題（○：成果，●：課題）	対　策
国語	A（基礎）	○漢字の定着、会話文の理解が確かになっている。 ●語彙や比喩表現の理解に不十分さが見られる。	・学習した言葉や表現方法を活用する経験を増やす。 ・短作文に継続的に取り組む。
	B（活用）	○司会の発言がどんな役割を果たしているかを考える問題で、理解できた児童が多い。 ●条件を満たす作文を書くことへの抵抗が大きい。	・ペア学習などで自分の考えを表現する場を増やす。 ・新聞記事を読んで感想を書く活動を継続する。
算数	A（基礎）	○単位量あたりの式の意味が理解できている。 ●円や角度について実感を伴った理解になっていない。	・公式をもとに問題解決できるよう、発展的な問題に取り組ませる。 ・基礎内容の反復練習を継続する。
	B（活用）	○図形についての理解が確かになっている。 ●文章題に書かれて情報を整理して考えることが苦手。	・解決の方法を記述したり、説明したりする活動を継続する。 ・読解力をつけ、文章と図を対応させる経験を増やす。
理科		○自然事象への関心・意欲が高い。 ●流れる水のはたらきの理解、電流などの実験の技能が不確実になっている。	・結果をまとめる学習で、自分の言葉を使う取り組みを進める。 ・実験について、ねらいや方法をより意識して取り組ませる。

（２）生活意識調査から見られた傾向

成果と課題（○：成果，●：課題）	対　策
○教科の学習をすることを大切だと思い、わかるようにノートをとるよう心がけるなど、まじめに取り組んでいる。 ●目標意識や課題意識をもって、主体的にものごとに取り組もうとする態度が弱い。	・総合的な学習の時間や読書活動が有意義な時間になるよう工夫を継続する。 ・キャリア教育の充実を通して、視野を広げ自己有用感を育てる。



（４）学力調査及び生活意識調査から見られた傾向（破線は全国平均）



（５）その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・10分×3回（毎週）の「基礎タイム」の時間の学習内容の吟味、改善を進める。
・新学習指導要領を意識して、「深い学び」ができるよう、指導方法を工夫する。

【参考】

○平均正答率

		本　校	松江市	島根県	全国
国語	A	66	70	68	70.7
	B	44	57	55	54.7
算数	A	57	62	61	63.5
	B	45	50	49	51.5
理科		49	59	58	60.3

受検者数　　39 人

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受験者数をもって表示しています。